

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	阪神西宮駅北地区開発	階数	地上3F
建設地	兵庫県西宮市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	2,300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,600 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、飲食店、等	評価の段階	
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年8月28日
敷地面積	5,671 m ²	作成者	西川
建築面積	3,466 m ²	確認日	2017年8月30日
延床面積	10,448 m ²	確認者	小林



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.8

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
利用者の安全に配慮し、駅機能を維持し続けながらの商業施設新築計画。環境設計のコンセプトは、周辺環境の特徴を取込み、建築の省エネ化、快適性向上を図ることである。北向きのファサードであることから熱負荷の少ないことを活かし、商業施設の賑わい創出のためのガラス開口を計画。また、柱のない広大なピロティ空間を自由通路の延長上として計画し、快適な商業、ターミナル空間とする。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・建物周囲環境を考慮した給・排気口の設置場所(北側ロータリー側排気ガスを考慮し、南側から給気) ・化学汚染物質の発生に配慮した内装設計	・開放感のある天井高さの設定(店舗内 H=3.3m) ・将来用設備機器設置スペースの確保	・建築物の外構緑化による生物環境の保全 ・駅施設、バスロータリーと一体化した開放的な空間の形成
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・トップライトによる自然採光 ・高効率設備機器の導入による省エネ貢献	・新冷媒を利用した空調機器の採用	・既存駅舎の南北自由通路を活かした通風計画 ・駅隣接建物として、代替交通手段である自転車駐輪場の台数を確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される